

1. 件名：「浜岡原子力発電所3号機及び4号機の地震等に係る新基準適合性審査に関する事業者ヒアリング(90)、(123)」

2. 日時：令和2年6月3日(水) 10時00分～12時17分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者

原子力規制庁：内藤安全規制調整官、熊谷管理官補佐、田上上席安全審査官、佐口主任安全審査官、谷主任安全審査官、菅谷技術研究調査官、南雲係員

中部電力株式会社：原子力本部 原子力土建部 執行役員

中川原子力土建部長 他11名(テレビ会議システムによる出席)

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

- ・浜岡原子力発電所 敷地の地質・地質構造(コメント回答)
- ・浜岡原子力発電所 敷地の地質・地質構造(コメント回答)
補足説明資料
- ・浜岡原子力発電所 敷地の地質・地質構造(コメント回答)
データ集1 反射法地震探査解析結果
- ・浜岡原子力発電所 敷地の地質・地質構造(コメント回答)
データ集2
- ・浜岡原子力発電所 新規制基準適合性審査 指摘事項リスト

時間	自動文字起こし結果
0:00:15	規制庁です。
0:00:29	はい、そうしたら説明のほうをお願いします。
0:00:33	はい、県立第 862 回の審査会合あすいません中部電力アマノでございます。
0:00:40	審査会合ありがとうございました。また緊急事態宣言を決定すぐ本日のヒアリングを設定いただきましてありがとうございました。本日は
0:00:51	前回の 3 月 25 日に実施しました敷地の地質地質構造のコメント回答の 2 回目のヒアリング、
0:01:00	お願いいたしますので、それ終わった後に、
0:01:06	862 回の審査会合アノン実施以外の要因による津波のラップアップ面談をお願いしたいということでちょっとヒアリング終わった後に、うちのほうで選手交代線と言うと 5 分ぐらい休憩というかですね、地公体の時間を設けさせていただきます。
0:01:22	はい、わかりました。はい。本日資料のほうは郵送でお送りしてまして、ヒアリング資料につきましてはコメント回答資料とその補足説明資料、あとデータ集が 12 の 2/2 分冊ありまして、
0:01:39	Pd氷リフトという考察お送りしてございます。
0:01:43	今から説明させていただきますが、大体 30 分程度、前回からの変更点を中心に説明させていただきますのでそのあと事実確認の方、よろしく願いいたします。では始めます。
0:02:00	中部電力の森本でございます。おはようございます。
0:02:06	それでは 3 月 25 日のヒアリングからの変更点を中心に御説明させていただきますと、前回からですねパワーポイントの資料のほうを変更しておりますけれども。
0:02:35	込まと変わっておりますけれどもこれから御説明する内容以外は前回ヒアリングのままですので、よろしく願いいたします。
0:02:44	前回ヒアリングから記載の見直しを行っておりますのは、三つの資料でございます。右肩の番号が H4Ci180 のある 01、これが本編資料になります。
0:02:57	それから 1 音声 181 補足説明資料延長 4182 データ数量 1 この三つでございますので、まず本編資料のほうから変更点ご説明します。
0:03:10	本編資料の 5 ページをお願いします。
0:03:14	検討の中身に行く前の部分ですけれども前回会合からの追加修正についてのスライドでございます。
0:03:21	左の列、4.2H断層系が正常の上のやはりから三つ目のですね、主な追加修正事項の欄のスガヤさんからご指摘いただいておりましたが、補足説明資料

	に記載された一覧表との整合がとれておりませんでしたので、修正しております。
0:03:42	検討の中身の方入ってきまして、6 ページから参照敷地の地質地質構造、
0:03:48	の変更点になります。変わっているのは 27 ページまでお願いいたします。
0:03:57	敷地の断層について、紹介しているスライドです。今回NS系正断層をきちんと定義して説明しておりますけれども、具体的にこのスケッチのところに熱形成段差があるのかと前回でも御質問いただいております、
0:04:13	このプレートなかなか見にくいので、ご参照いただきたいページAというのを右上の箱の下の欄外について書きで参照ページということで、つづいたしました。細かい修正でございます。
0:04:28	国の変更点 66 ページまでお願いします。
0:04:33	脊椎には四つの断層グループが存在しますと、ここまでで御説明しておりますが、66 ページのスライドの一番下の箱書きで、それらの形成過程についての考察を行っております。その部分の記載を適正化しました。
0:04:51	切り切られの関係からいえることをシンプルに記載さということでした。
0:04:57	①として、まず小規模な断層として四つの断層グループがほぼ同時期に形成された②として、最後のステップとして、AEW系正断層が大きな変位を生じた、なお書きの部分ですけれども、②のステップにおいては、
0:05:14	EW系正断層に規制されるようなEW系逆断層も形成されたというふうな記載に修正をしております。
0:05:24	次 67 ページお願いします。
0:05:27	そのEW契約断層の成因について考察したページです。
0:05:32	真ん中の箱書きの一番下の部分で、黒の矢印になりますが、前回ヒアリングではEW系逆断層はEW系正断層の活動に従属し形成された断層としておりました。
0:05:47	サグチさんからご指摘いただいていたかと思っておりますけれども、正断層が改定したものですとかオーバーハングしたもの、いわゆる見かけだけの逆断層というもの、その従属
0:05:58	形成された断層とするのは標準ぞいかがかとご指摘ありましたので、今回は従属し形成される断層または見かけ逆断層がEW系正断層と。
0:06:10	してございまして、または以降の部分を追記しております。
0:06:14	この変更については 58 ページ、5718 ページも同様の変更を行っております。
0:06:24	次 68 ページになりますが、こちらのスライドはEW系逆断層の成因として定義をしている知見と敷地の断層との対比を行っているページです。

0:06:36	SP熱源の調査、詳細につきましては補足説明資料の一章のほうに掲載しておりますが、
0:06:44	表記の記載と補足説明資料の記載うかがわ今対応するように、文章の修正を行っております。
0:06:55	次の修正こそ 70 ページまで飛んでいただきまして、こちらのスライドは、統制評価の対象とする断層の選定についてのまとめスライドになります。
0:07:08	左上、NASAグループの切り切れ関係の模式図を示しておりますが、前回ヒアリングも御説明いたしました。これは最終的な切り切れ関係を示しておりますので、そういったものですね。模式図の右下のほうに注意書きで記載いたしました。
0:07:29	本当に 3 章の敷地の地質地質構造の変更点は以上になります。
0:07:34	続いて 80 ページから章が変わりまして、1 断層系の活動性評価、
0:07:43	になります。このしょうが変更点につきましては、補足説明資料と共通する部分もございますので、そういった箇所は後程補足説明資料のほうで御説明しますと、まずそれ以外の部分から説明させていただきますが、
0:07:58	126 ページをお願いします。
0:08:09	この 126 ページ以降ですね、陸域のH断層系の露頭と会計一覧総計のボーリングコアの観察結果についてのスライドが続いております、
0:08:20	健康管理も 143 ページのまとめのスライドです。
0:08:31	陸域と海域の液安先の観察結果、以前はまとめて記載していたものを陸域海域を分けて今回記載しております。まず上側の陸域についてでございますが、この表が記載内容に変更はございません。
0:08:47	ただですね、真ん中のあたりの列にa断層のうねりについての欄がありまして、
0:08:54	このいずれの露頭でも何か目にうねりがあることを確認しているという内容でございますが、個別の炉等についての説明スライドの中にうねりについての記事が抜けている箇所がございましたので、個別の露頭の説明スライドの中に、
0:09:11	そのうねりについての記事を併記いたしまして、143 ページの整合を図っております。
0:09:17	具体的にそのうねりの記述追加したページというのは、128 ページ。
0:09:24	の
0:09:25	地域断層
0:09:27	沢山 16 ページのH5 断層、
0:09:31	140 ページのH-7 断層 141 ページのH系断層、この個別のスライドでございます。

0:09:41	また 143 ページのほう戻っていただきまして、
0:09:44	今度は下側の表IT-H断層系の記載でございますが、従来ですと、断層面のうねりですとか、流動的な変形構造の欄に横棒が引っ張ってありましたが、きちんとあることが確認できておりますので、その旨表中に記載しております。
0:10:04	またこれにあわせまして、142 ページ。
0:10:07	海域のH断層系の観察結果のスライドにも、その確認内容の机上アマノきちんと文章で追記いたしました。
0:10:16	また関連いたしまして、この海域のコア観察結果の詳細を補足説明資料の 98 ページのほうにいき、追加しておりますので、ちょっとそちらのほうも合わせて説明させていただきます。
0:10:30	補足説明資料の例えば形成 9 ページをお願いします。
0:10:41	A社がコアのどの部分を持って流動的な変形構造と言っているのか、ここあかんコア写真とスケッチを対比する形でお示しております。やっぱりこういったデータも遅くにつけております。
0:10:58	すみませんまた本編資料のほう戻っていただき、ごめんなさい。本編資料のみの変更箇所の御説明は以上になりまして、残りの変更箇所を補足説明資料の変更と共通いたしますので、そういった捕捉できね資料の変更箇所の頭から順番に御説明させていただきます。
0:11:20	いや、補足説明資料の 2 ページからをお願いします。
0:11:26	引張応力場で形成される逆断層についての知見を一件一葉で終了しております。
0:11:34	本編のEW系逆断層の成因についての考察で引用している知見を詳細になりますが、3 ページから 6 ページの 1 件一葉の関係詳細の部分に従来の文献の記載に加えて、本編と対応させる形で当社の解釈についても追記を行っております。
0:11:57	この章については以上です。続いて 7 ページから、こちらはH断層系の分布の核種調査官との対応ということで異なる手法による調査結果の対応について考察をしているこの章になります。
0:12:13	変更点 10 ページをお願いします。
0:12:19	検討内容の前段といたしまして、反射記録の取り違えあの深度断面を、お時間断面と取り違えておりましたという説明をしております。
0:12:29	具体的にどの資料のページで案取り違いがあったのか記載することと、前回部屋で御指示いただきましたので、下の表に誤った像掲載していた兵庫
0:12:40	掲載水位と資料を一覧で記載しております。
0:12:45	この章の変更点は以上です。
0:12:49	続きまして 27 ページからの新しい章。

0:12:53	ですが、一段組織の活動性をいつ 9 断層で代表させることについてのコメント ない回答している相になります。
0:13:05	変更があるのに 18 ページからになります。
0:13:09	28 ページですが、下の箱書き哀悼用紙の部分、こちら記載を少し充実させま した。
0:13:18	コメントが説明性を向上させることということでしたので従来説明に対しどのよ うに説明性が上がっているのかという観点で追記を
0:13:28	下の箱回答要旨の部分に行っております。
0:13:35	続いて 30 ページから個別の検討スライドに入っていきます。まず 30 ページか らは検討は手法の異なる調査結果同士の具体的に言いますと、
0:13:49	反射法地震探査とボーリングのコア観察結果、こちらを比較いたしまして、H 断層系が深部に連続しないという評価の信頼性を向上させている部分になり ますが、
0:14:00	変更がございますが 32 ページをお願いします。
0:14:07	この図話を地震探査による話は記録とボーリングによる一案総計のⅢでモデ ルを重ね合わせたものでございます。
0:14:15	反射記録と競りモデルの関連といえますか対応関係の知事が箱書きの中にな かったので、
0:14:24	箱書きの 4 ポツ目に追記を行っております。
0:14:30	それいいモデルによるH断層系の分布は反射記録における南傾斜の明瞭な 不連続面と整合的であるということと、反射キノコのほうが深くまで不連続面と らえてられておりますが、深部まで優位に連続するような不連続面は認められ ないという内容でございます。
0:14:49	次の 33 ページ 34 ページも同様の追記を行っております。
0:14:55	次 36 ページをお願いします。
0:15:00	反射記録に見られる強反射面とコア観察結果は観察データの地質との対応 関係の説明を行うスライドでしております。
0:15:10	以前は右下R1 測線の結果を使いまして、今日反射面と砂岩比率の高い相良 層が対応している旨、説明しておりましたけれども、ほかの測線、
0:15:22	具体的に 6P2P1P測線においても同様のことが言えておりますので、その説 明性向上の観点から、ほかの測線結果についても、追加をしております。
0:15:36	次 47 ページをお願いします。このスライドは変更ありませんが、この
0:15:43	ここで検討している内容のまとめでございます。一番保険は深部に連続しない と評価しておりますが、その根拠の一つである反射記録の強反射面というの

	は、実質としては砂岩比率の高い相良層に該当しておりまして、この地質的にも反対を関係が説明できるというものでございます。
0:16:05	次章が変わりますので 48 ページをお願いします。
0:16:13	H断層系は、相良層が未固結から半固結の時代に形成された、それから探そう孤立して以降、新たな活動が生じていないと、従来から評価しておりますがその信頼性向上のための検討でございます。
0:16:31	変更がありますのは、山がついてます 50-1 ページという 50 ページ 57 ページをお願いします。
0:16:45	上の黄色の箱に
0:16:47	岩盤において断層が活動した場合の性状に関する知見を書いておりまして、その隣、水色の箱に液安争点を性状を記載しております。
0:16:58	両者比べると、黄色の箱に書いているような特徴というのは、この水色の箱のH断層系の部分ではないので的措置は下から層が固結した時代以降活動していないものと考えられると。
0:17:12	下の箱書きでしております。
0:17:15	黄色の箱の一番下のポツ岩盤において活動した断層は平滑な断層面を形成しているという記載がございますが、
0:17:25	これは文献の中では露頭レベルの観察結果について言及した箇所の引用でございますので、このスライドにおいても露頭観察結果のとの対比を行っております。その旨をですね、この一番下の箱書きの部分米印で
0:17:45	注意書きということで追記を行っております。
0:17:52	続いて 50-2 ページ、次のページをお願いします。このスライドは今回追加したスライドになります。
0:18:00	既存組織が下から層が固結した時代以降活動していないとしておりますが、だから層が固結した時代って具体的にどれぐらいなのかっていうの考察をしております。
0:18:12	箱書きの 1 ポツ目、一般的なことですけれども、堆積層は徐々に脱水固化し何かするというものです。
0:18:19	2 ポツ目だからそう及び掛川層群はいずれも全国Y盆の堆積物が固結した堆積なんでございます。
0:18:28	3 ポツので。
0:18:30	或いは相互の最上位の下がるの土方泥層は堆積後 100 から 200 万年程度低下しておりますが、現在すでにを可決しなんかしております。
0:18:42	4 ポツ目、したがいまして、4 から 5Maごろに堆積したとされる敷地の探そうというのは、遅くともこの堆積してから 100 から 200 万年程度経過したから 3Ma 頃までには現在の

0:18:57	それから土方泥層程度まで固結していたというふうに考えられますので、敷地の探そうというのは遅くとも 200 万年で 200 万年前には固結していたというふうに考えております。
0:19:12	それからその後日年代ってというのは、いつごろなのかというのをより具体的なスケジュール感オーダー間で示すような考察スライド今回追加しております。また最後のまとめの部分でこちらについては引用します。
0:19:30	また
0:19:35	以上が変わりまして、51 ページをお願いします。
0:19:41	H断層系をその形態的な特徴から海のフォールト同様の断層群だと評価している小児、
0:19:50	なります。
0:19:51	従来の説明ではリストラックというキーワードが出ておりましたが、そう説明から今回の評価に至るまでの経緯をこの箱書きの下のほう米印で追記しております。
0:20:04	当初はもうに国内の正断層の形態に関する知見を踏まえまして、津浪の後方回転に伴うという移転の措置の特徴から一番そちらリストラックな正断層というふうに考えておりましたが、今回屋外からの知見、
0:20:21	そういったものも踏まえまして、より
0:20:24	詳細な分類を行っております。
0:20:27	新たな調査結果も踏まえた上で一番先の特徴から 1 の先ほどみんな法律と同様な断層群という、今回整理したというものでございます。
0:20:38	次の 52 ページから 56 ページ。
0:20:42	は、一段組織の特徴を
0:20:48	前にわたって示しております。前回のヒアリングの資料では 1 枚のスライドに表でまとめておりましたが、今回詳細に移したというものでございます。
0:21:05	57 ページをお願いします。
0:21:08	エアフィンの特徴を一般的な正断層群の形態的分类照らすとどうかというスライドでございます。
0:21:16	上の箱書きの 2 ポツ目いきやすは経営がこの部分の中のどこに位置するのかという部分の記載を詳細にしましたリストラック法律というよりはむしろみのプレスとの類似性が認められるというものでございます。
0:21:33	58 ページから 61 ページの変更ございませんが簡単にスライドの紹介だけさせていただきますと、58 ページは都民法律の事例です。知見を示しております。59 ページは飛びの法律の特徴を同時に活動する。
0:21:50	とされていますというものでございます。

0:21:53	60 ページは 1 月タケヤマ形態的な特徴はアドオン法律と一致するまた矛盾しないという説明です。
0:22:01	61 ページは、その形態が 60 ページに示した形態の特徴。
0:22:07	移管先の形態の特徴をまとめています。これは本店の再掲です。
0:22:16	62 ページをお願いします。
0:22:20	イトウ断層系の形態特徴、具体的には製造形成要因ですけれども、これ頭取の法律等の知見と対応関係を示しております。ここは一定変更がございます。
0:22:31	上の表の一番下の部分、茅ヶ崎は地すべりによるものだと成因についての評価結果を表しております示しておりますが、前回比ではみんな法律であると評価を指示するとありましたが、正確には都民ホールであるとの評価と矛盾しないと。
0:22:47	いうふうに考えておりますが、考えましたので、記載を適正化しております。下の箱書きも同様の変更です。
0:22:56	64 ページ、次をお願いします。いや、本検討のまとめです。
0:23:02	先ほど満と同様な断層群だと評価しておりますが、最後の一文の記載を見直しています。
0:23:10	一番先は、同時に活動するとみんな法律と同様な断層群としてすべての断層が一体として活動する断層群であると評価する。
0:23:19	一体としての部分を前回は同時に解いておりましたが、経営として断層系として、システムとして同時繋がって一体で動くという観点から表現の見直しを行っております。
0:23:33	次 65 ページからここまで御説明した個別の検討内容を踏まえまして、いつ 9 断層の代表性について説明しておりますまとめの記載の見直しを行っております。
0:23:46	66 ページ 67 ページが、そのまとめの文章になります。本店とも対応しているものです。
0:23:54	まず 66 ページ箱書きの一番上の塊の部分。
0:24:00	H断層系の特徴としておりますが、これは前回会合から御説明している内容です。
0:24:06	最後の文章ですが、一番先や分布形態性状の類似性を形成時代の同時性分布範囲局所性が認められ、同時代に同一の局所的な応力場により形成されたものと考えられるというものです。
0:24:21	その下、一番早期に属する断層の活動時期、
0:24:27	今回追加した考察を先ほど御説明しましたからそうは孤立したというのは遅くても 200 万年前だろうということと、さらに以前から御説明してる内容H断層系の携帯性状というのは類似しております、

0:24:45	性状から、だからそれは固結していこう新たな活動が生じていないと。
0:24:49	この二つから一段組織に属する各断層の最新活動時期は約 200 万年以上前の相良層の固結度がほぼ同等の
0:24:59	ある一時期に限られるものと考えられるとおります。
0:25:05	そうした三つ目の固まりH断層系の活動の特徴ですけれども、これは先ほど御説明した後に残るとのTHAI結果ですね、液アン早期は同時に活動するのみの法律と同様なすべての断層が一体として活動する断層群というふうに考えております。
0:25:26	一番下の四つ目の部分、一番総計の活動の同時性に関する評価です。
0:25:33	意見そっちは同一の地質学的場で形成された同じ系列に属する一連の断層群、すなわちすべての断層が一体として活動し、各断層の耐専活動が同時期、
0:25:46	その時期というのは 200 万年以上前のある 1 時期である。
0:25:50	そういった断層群であるというふうな評価をしております。
0:25:54	要は一体で動いた、すごく古い断層という評価でございます。
0:26:02	次 67 ページのほうに移りまして、上の部分、チャンバ形成要因を踏まえた評価の
0:26:11	先ほどの評価の確認ということで、移管先の成因は地すべりであると、従来から行っておりますが、この評価は同一の地質学的場で形成された同じ系列に属する一連の断層群という評価を指示しております。
0:26:25	この説明は前回会合のままでございます。
0:26:29	その下の水色の箱書きの部分。
0:26:32	こういった検討内容を踏まえまして、上載地層による活動性評価方針を示しております。
0:26:39	一番先はすべての断層が一体として活動し、各断層の最新活動が同時期である断層群でありまして、その足ん活動時期というのは約 200 万年以上前であるというふうに考えられます。
0:26:53	要するに、後期更新世よりはるか昔に大分動いた断層群でございますので、どの断層においても起き更新世以降における活動性は同一の評価と
0:27:04	あるAということで従いまして、上載地層による活動性評価については、
0:27:12	この駅から先の一つであるH系断層対象に行うという方針を記載しております。
0:27:19	68 ページは、ここまで御説明したまとめの文章をフローでまとめて全体としてお示ししているものです。

0:27:29	まとめそれからフローの記載に関しましては、19 断層の上載地層でH断層系の活動性評価を代表できる理由として、
0:27:39	ドーナツにおいても高知更新世における活動性は同一の評価でなるということ を今回メールのカットして記載しております。
0:27:51	次 69 ページをお願いします。以上がですね補足説明資料 4 章にパンする変更点の説明をさせていただきましたが、69 ページに関連する本編のプライド揭示を記載しております。
0:28:06	ここに掲載されている本編スライドについても、ここまで御説明した内容と同様の見直しを行っております。
0:28:17	1 の代表性に関する修正は以上です。
0:28:20	残り細かい修正だけになりますので、簡単に御説明させていただきます。
0:28:27	70 ページから
0:28:29	今はTall2015 についてのコメント回答です。73 ページから、その試験の概要を進めしておりますが、変更があるのが 74 ページです。
0:28:45	右側の断面位置、右側で示している断面の位置が左側の平面図に近い言わなかったので、今回ついてを行っております。
0:28:57	次の 75 ページ。
0:29:00	箱書きの文章の中に、弊社の注書きとして記載している正断層群正断層群B というのがこの図の中のどれに該当するのかわからない状態でしたので、普通の中にこれが正断層。
0:29:15	2 台予備だよというのを注書きで記載してます。
0:29:21	それから、続いては 80 ページまで飛んでいただきまして、
0:29:27	今の文献に示されているアマノ会合の正断層群と 1 保険の関係を説明しているスライドになります。
0:29:36	上の箱書き(1)の部分、1 ポツ目と 2 ポツ目、前はまとめて記載しておりましたが、文献の記載と弊社の解釈を分離して記載することと、ナイトウさんから御指示いただいておりますので、今回分けてます。
0:29:53	それからフランジ傾斜についての標準も、タガミさんからの御指摘踏まえて、見直しております。
0:30:01	次は 82 ページ。
0:30:05	分遣内容と一番総務系の対比の詳細でございます。
0:30:10	こちら形成時期の量の 1 断層系の列のまとまった文書がございますが、こちらでもフランジ傾斜についての表現をタガミさんからの御指摘踏まえて適正化しております。
0:30:24	AMITallについての資料の変更箇所。以上です。

0:30:30	続いて 83 ページからは前回会合からの追加修正ということで、こちら
0:30:38	中身についても、今回の変更は前回会合からの変更点ということで反映しております。
0:30:47	補足説明資料につきましては先ほど本編資料で御説明した通り、間伐が 98 ページ。
0:30:55	いいですね、H断層という海域のHはさっきの
0:30:59	こう観察結果の資料を追加しております。
0:31:06	また説明者の変更箇所の説明は以上になります。
0:31:11	最後、
0:31:13	データ集 1
0:31:15	変更点だけ
0:31:20	説明します。
0:31:23	データと一致は反射記録になりますが、2 ページ。
0:31:28	側線インフラの以前のものだとありませんでしたので、載せている反射記録の A測線位置図、2 ページに追加してます。
0:31:39	それから 6 ページをお願いします。
0:31:44	反射記録にP波速度を記載したページになります。
0:31:48	ここで記載する速度がどこの値を表しているのかという御指摘のご質問前回ヒアリングでいただきました。
0:31:56	数値は記載されている地点のまさにそのピンポイントの速度を出しておりますので、
0:32:03	しておりますので、
0:32:05	図のタイトルにその旨をわかるように書いております。
0:32:11	その他の速度が形成されたスライド名前変わりますが、このスライドについても同様の変更を行っております。
0:32:22	以上がデータ集 1 の変更でございまして、
0:32:27	三つの資料ですね変更箇所の説明は以上になります。
0:32:43	御説明ありがとうございました。
0:32:46	こういうのを良好ですか。聞こえますか。
0:32:51	はい、よく聞こえます。はい。
0:32:55	では歳出にですね、ちょっと細かいところに入る前にちょっと比較的ですね、大きな枠組みというか、
0:33:04	そういったところがちょっと確認させていただきたいんですけども、
0:33:09	本編資料の
0:33:14	146-1 というところで 146 年についていうところ。

0:33:20	に関してなんですけれども、
0:33:35	146-1、所の下の
0:33:41	青い箱書きのところに評価っていうふうに書いてあって、
0:33:46	従ってっていうところありますけれども、従って断層系さくら小学校別した時代以降活動していないものと考えられる会計あるんですけれども、
0:34:01	高橋層が固結した時代以降っていうところに関する
0:34:05	の情報っていうのは、
0:34:08	ちょっと以下患者の次のページに書いてある。
0:34:13	のかなと思ったんですけれども、そういう理解ですね。
0:34:24	電力イマイ率それなら理解でいいと思います。これまで補欠した時代きずなだっていうところが連帯感として示されてなかったものですから、今回、詳細の検討というわけではございませんか。146-2 ページで概ね 200 万年という
0:34:40	後期更新世に比べれば自分ぶりという時代間を今回追加してございます。
0:34:46	はい、わかりましたということで、すと、この評価っていう青、青い 5 月前に、
0:34:56	ようは 146 日と 104 億 146-2 のページっていうのは、逆にしなくちゃいけないんじゃないかなと思うんですけど、その辺のロジックが、
0:35:05	以上です。
0:35:40	戻しました。
0:35:43	146-2 がですね具体的な年代感として示しておりますが、146 ページ、146-1 の部分までの検討ですねこれ従前から説明している内容ですけれども、
0:35:57	固結して、
0:35:59	固結した時代以降、
0:36:02	活動していないということはもうここまでの段階で十分に入れていると我々としては考えていて、次のページ 146-2 というのは固結した時代っていつなのかっていうの具体的な年代間で示したという位置付けでございます。
0:36:19	ちょっとさっき説明した内容と
0:36:23	ここ。
0:36:25	出るのかもしれませんが約 46-1 の段階で固結して以降は動いてないということもすでに言えていると。
0:36:33	いうふうに考えてます。
0:36:38	はい、わかりました。ちょっとこの 146-1 と黒く 140-2 っていうものが標記の順番っていうのはもう
0:36:48	これで大体いいですね、そういう
0:36:54	はい。これで一応説明させていただきたいと考えています。
0:36:59	はい。

0:37:05	あと、
0:37:07	はい。
0:37:09	すいませんタニです。今んところちょっと関連なんですけど。
0:37:16	146 の日程を真ん中に 100 万円とかそういう数字が出るじゃないですか。
0:37:26	今考えてc断層はでも固結してない。
0:37:32	ですよ。
0:37:33	H断層自体が、
0:37:38	その辺何か人の基盤が0 考えてること経験値との関係っていうのは何かどっかに書かれているんですね。
0:37:49	中部電力イマイです。一旦設計はですから前の固結
0:37:56	一応保険の固結度に関してちょっとコメント回答したこともあると思うんですけども、
0:38:01	探そうが堆積して固結するしていく段階で一番ときは、三紀から固結時に以浅された。
0:38:09	そのあと差額を統一したときはともに／特性作用によって固結していくということでございますので、1 先自身もまあ現在固結はしているというふうに認識をしております。ただのコアに比べると若干その固結度がFujiiというところはございますが、
0:38:25	そういった認識で我々は考えて、
0:38:33	ベンチ断層系は固結しているっていうふうに考え、現地で一番総計で中身固結のところありますので、そこの関係をちょっと
0:38:43	いや、資料にどっかにそういうのを書かれてるのかどうか教えて欲しいんですけど。
0:39:15	ちょっと前回の審査会合でコメント回答という形でさせていって、
0:39:23	ただ行ったかと思えますけれども採泥物質粘土質のところ固まってないのでというところで三方湖の御指摘をいただいているんですけども、
0:39:35	一応その活動したときに属性作用としてリセットされて
0:39:42	そういったものだという考察は行っておりますが、この入口の部分は
0:39:51	こちら合わせなくていいですかやわらかい部分もあるんですが、
0:39:58	なんていうか、入れ子交代といってる部分っていうのは自分固結していることは確認はしております。
0:40:07	ちょっと前回資料のですね。
0:40:12	資料の 2-3、補足説明資料の 2。
0:40:17	-24 ページに前の関連記載しております。
0:40:26	はいはい、その

0:40:30	ここが結局だから温床は出て1断層系の未固結の部分っていうのはこういった塊型とはちょっと違うよっていうことをおっしゃってるってことですね。
0:40:44	やった土木時代からお話を
0:40:48	どう、どうするのも変を差別化してんのかなってちょっとと思って聞いたんですけど、
0:40:58	ちょっと過去の資料もその時私見てたはずなんですけども1回ちょっと見てみて、これらの関係も確認してみることにします。
0:41:09	はい。属性作用がどんどん進んでいく中で、パッケージの活動があったタイミングでちょっと遅れて属性作用としても進んでいるという。
0:41:21	応礼をしておりますのでまた確認いただければと思います。
0:41:35	参事ですけども、
0:41:38	ちょっと今のところに関連して性状のところ、少なくとも工房測定ですね、そんなにやっていて、
0:41:49	全然下がると御不安を1時間総計で硬さ違いますよねということを多分今回も以前から示されていたと思うんですけど、そんな資料なかったでしたっけ。
0:42:08	現資料の158ページ。
0:42:15	にCodeについて記載をしております。
0:42:28	湖面設定ここじゃないかな、何でした。
0:42:32	もうちょっとはっきり数字が出ていって1桁ぐらい何か違いますよみたいなのかどうかと思うんですけど。
0:42:57	中部のところですか。
0:43:02	中部電力オオミナミです。158ページですね、本編の158ページ帯磁率と硬度っていうのは載ってまして、右側のグラフのほうの3ショップ色があるんですけども、オレンジ色の部分ですね。
0:43:19	オレンジ色の部分がこれ滞留ブッシュと伴う断層面ということで、これもいわゆる断層系の断層面プロセスそのものを使ったもの。
0:43:28	それで、青いところが断層面に挟まれた流動的なところも昔あの地層混交帯と呼んでいたところで、それから、
0:43:36	例えば緑っぽいグラフでなっているとところが①②③の相良層健岩部っていうことで、これは沖側定量的に示しているコードのものになる形ですね。
0:43:54	サグチですとわかりました。
0:44:17	はい。多分ですね。
0:44:19	本編資料の143ページをお願いします。
0:44:30	この前の資料から陸域部っていうものと会計っていうのを分けて表現して、
0:44:38	いう御説明であったかと思うんですが、

0:44:42	昨日も何点か確認しますが、これは9月の8月してる部分としてない部分っていうのがあって、
0:44:50	活躍してる部分は704回の会合資料にも、
0:44:57	前ビジネスが出てるっていう意味でしょうかね。
0:45:00	その逆に800してない部分というのは結構書いてるだけっていう、こういう理解でいいですか。
0:45:09	オオミナミです。143ページ、8キングしてる部分はおっしゃる通り第704回のここに書いてある参考資料に書いてございまして、この白抜きのところですね、こちらの機器はこの本編のところ、
0:45:25	本編の資料に全部これが反映されているものという認識で今つくっております。
0:45:34	例えばそのコア観察結果で膨縮とかレンズ状構造気づいていうものの関係してるわけなんですけど、それはあれですか。
0:45:45	これまで提出いただいているcoreコア写真とか、そういうのを見ればわかるっていう、
0:45:53	具体的にどこでそういうものが見えるが、通称材が説明されてないっていうことでしょうか。
0:46:03	中部電力オオミナミですねとまずですねこの今回表二つに分けておりますけれども、上側の表、これは陸域で見えてるあの露頭の観察結果になります。これ
0:46:17	上の陸域部の露頭観察の白抜きになっているもの、いろんな気になってるところっていうのはすべてホームページ資料に写真なりスケッチなり、あと評価として箱書きて当社が評価結果を書いてございまして、
0:46:37	パッキングの部分につきましてはあまり町の膨大な資料になってしまっているので、これについては704回の審査会合資料1-3にこの本編資料と同じような書き方になってるんですけども、写真なり、
0:46:52	小穴スケッチなり評価なりを全部書いてございまして。それから下の海域部につきましては、これまで載っていなかったもので、今回、補足説明した今回ちょっとまだ資料のほうとして補足説明資料になってしまうんですけども。
0:47:08	補足説明資料の99100、101のところ、明瞭な
0:47:18	アプリなさいw練りであるとか膨縮レンズ状引きずりがわかるように、ここはつけても含めて柱状図コア写真つけてアポは設置ということで記載させていただいておりますこれがいわゆるエビデンスっていう形になります。
0:47:35	はい、わかりました。
0:47:37	それと、このページであと二つ確認させてもらいたいのがまず断層面滑りっていう項目合併

0:47:46	これは
0:47:49	どうぞ。
0:47:49	補足のほうですか。
0:47:57	。
0:48:00	51 ですか。
0:48:02	嘉門パターンD活動断層によって形成してるってことって、
0:48:11	そういったことを考慮して発表されていると思うんだけど、一連のために聞きま すけど、やはりっていうふうに書いてるけど、紙閉合なおその円滑について客 観的な大きいのかなっていう、
0:48:27	義務があるんで、その辺ちょっとご説明いただきたい。
0:48:30	あともう 1 点は、薄片による詳細観察を実施って事項に書いてあるんですけ ど、その詳細観察の目的っていうのはどういうものを確認されているのか、こ の 2 点教えてもらえますか。
0:48:55	まず 1 点目の断層のエネルギーをこのまま客観的な指標でやってるかという と、これはもうスケッチを見ながら横並びに見て非常にうねっているものについ ては有りで感覚論になるんなるんですけども、非常に
0:49:12	それほど寝てないように見えるものについては、やはりというような書き方をし てございます。何かこの客観的な指標を用いているかというとスガヤを用いて いないという形になります。
0:49:21	それからと薄片による詳細観察を実施するということになりますけども、これ例 えば本編資料ですと、
0:49:39	133 ページなんかで 3 ページに、
0:49:44	檀H3 断層のの薄片観察結果でございますけれども、ここ評価結果としても書 いてございますけども明瞭なせん断面があるかとあと顕著な細粒化断層面に 見られているのかとか、
0:49:59	シャープな断層面がちゃんと見えているのか見えてないのかといったことを或 いは、この断層面近傍にある化石が壊れてないとかそういったところから、こ の断層自体も薄片から見ても、流動的な時代にできたものであろう、そのよう な形で評価していると、そういった投下し、
0:50:19	これ参考資料のほうに記載しているほかの断層についても同様のことを記載 してございます。
0:50:27	はい。
0:50:28	そしたら露頭観察結果の表示はあるんだけど、
0:50:34	薄片によるっていうのを、1 項に書いてあるものについては、
0:50:39	今のページでございます。133 ページにあるような

0:50:44	観察も踏まえて、その未固結なときに動いたってような特徴がそれぞれ確認できてるんですよ、そういう説明でよろしいですか。
0:50:58	はい。基本的にはそういった形で大丈夫。
0:51:02	はい、わかりました。
0:51:14	すいませんスガヤですけども、
0:51:16	ちょっと私のほうから、細かいところになっていくかと確認させていただきますので、すみません、ちょっとテンポよくさせていただきます。
0:51:27	まず、本体の 32 ページ。
0:51:32	いえ。
0:51:34	上の 800 のところの黒い矢印が右のほうにばかりいく中で前回のヒアリングのときにとらえるの書きぶりを適正化するとおっしゃったような気もするんですけども、
0:51:49	何かされてないような気もするんですけども、メディアの修正、今、村のであればいただければと思います。
0:51:59	33 ページ、次のページなんですけれども、
0:52:03	資金を探す上最後する力って書いてあって、
0:52:08	三坑、
0:52:09	書いてあるんですけども、
0:52:12	それで、
0:52:14	参考にしてる。
0:52:15	位置付けたところがあります。
0:52:26	はい、モリモト図を答えていてよろしいですね、
0:52:31	まず 32 ページの記載ですけども、この黒い矢印の部分と、
0:52:38	50
0:52:42	56 ページですね、断層の形成史のところの記載に矛盾があるんじゃないかという指摘だったかと思います。今回 32 ページの記載そのままで 66 ページの断層形成史の記載をちょっと改めたという形で、その両者の
0:52:59	整合といいますか、説明。
0:53:02	32 ページ直さなくてもいけるかなというふうに考えましたので 66 ページの修正に止めたというものです。
0:53:09	それから 33 ページの週と参考にしてるチーズ計ですけども、
0:53:21	一般的な
0:53:26	県かなというふうに考えてましてご参考までにこういうふうな
0:53:32	県見ますよということも来たらもう過去から東西圧縮機を

0:53:41	東西圧縮マニュアルというのは全く一般的なことかなと思ってましたので、参考としておりますが、
0:53:48	ちょっとこの辺の人たほうがいいということであればそれには全然問題ありませんので、
0:53:56	考えさせていただきます。
0:54:04	サグチですけども、すみませんちょっと横からちょっとその 32 ページのどこなんですけど、私もやっぱりこれは重々ところは別に今回直されてないっていうのはいいんですけど、一応それより前にこう考えられるというふうに思っ
0:54:22	今モリモトさんから御説明あったように、これは後ろの 66 ページでこういう考察がということなんですけど。
0:54:30	これやっぱり
0:54:32	例えばほっとい呼び込ん車庫後述するとかって、
0:54:37	多摩と思うんですけど、そういう形ではないと、これやっぱりちょっと口頭通知するかと。
0:54:43	いう気はしています。
0:55:05	ごめんなさい。ドツプラのない内容なので、また、あくまでもここは完全にこれまでの 31 ページまでの中で、
0:55:18	考えられるというか実際観測観察された事実ごみを持って書かれているのか。
0:55:28	私はそういう理解だったと思って前回はちょっとそうそういうことを今コメントというか、お聞きしたんですけど。
0:55:37	もちろん御社のお考えはこう考えられるという考え方はわかるんですけども、あくまでもする。
0:55:46	後ろでうちの 66 ページなりで言っている。
0:55:51	66 ページでした。
0:55:53	ということに基づいて、今これ書かれていると、やっぱりこのページで気になってサポートするので。
0:56:01	御社よく使われる後述する。
0:56:04	ページを何ページとかというふうにしたほうがじゃないのかなと私は思いますよ。その対応についてはちょっとお任せします。
0:56:17	はい。すみません、まだちょっと記載のほうは
0:56:20	考えさせていただきますご指摘通り、
0:56:54	どうぞ。
0:56:56	すみません、ちょっと記載のほうは検討させていただくんですが、32 ページの黒い矢印の部分ですね。あと 2 ページまでの検討。

0:57:08	思っては、Pro矢印のことは言えないんじゃないかというのがここもとしてあるかと思うんですけれども、具体的に
0:57:17	どこの部分が切れてないという
0:57:21	今回のことちょっと教えていただけますでしょうか。
0:57:25	サグチです。あくまでにこう後半部分ですね。
0:57:30	NS系逆断層とは言いながら、厳正な活動も関連して形成され、ここで、
0:57:36	確実にいえるのは、
0:57:38	要は、広域な応力場との関係があるかないか。
0:57:43	いうことでないということだったといえる。
0:57:47	でも、
0:57:48	関係して関連して、そのほかの断層活動に関連して形成されたと。
0:57:56	いうことはここまでの水量じゃない。
0:58:00	そのそれ以降も含めて全部ですか、今後、もちろんそれが約ここまでの資料でもですね、30 ページの中でわかるというのであれば、まあちゃんとそこを補強した形で書いていただければと思います。
0:58:19	ご指摘の個社のわかりましたので記載行けばさせていただきます。ありがとうございます。
0:58:33	記載を紐づけするようにしますのでよろしくお願いします。
0:58:38	そうです。すいません。そこはします。
0:58:45	はい。
0:58:46	はい。です。
0:58:47	そうですけれども、補足説明資料の 36 ページをお願いします。
0:58:59	話をどんどんにおける 8 パターンと地質対比のところの確認だけなんですが、
0:59:05	砂岩比率っていう説明されてるんだけど、踏査がんについて具体的にどういふふうに出されてますか。
0:59:17	オオミナミですと砂岩比率はですねここは観察の結果として、そのあと道路青、その送泥層それぞれピックアップしてそれを 1 メーターごとで区分して
0:59:31	10 メーターごとに、その割合っていうんですかね、長さを出してきて割合として、
0:59:37	1 メーターほどっていうのはこういうとかうんとみたいに代わる何メーターの深度のところで様課税眼科っていう追加されてるんですかね。
0:59:48	えっとですね出し方としては基本的にはまずここは
0:59:53	いろんなところに高は 1 名他行で載ってるかと思いますがけれども、この状態であつたとしてですね、すぐ下にもここは載ってるんですけど、今度 1 メーター状

	態でどこが砂岩のほう過程段階ですべてピックアップしてではこれは 10 メーター-10 メーターになってるので。
1:00:10	10 から 20 メーター、20 メーターから 30 メーターという形できっちりそこで区切って砂岩比率として算出してます。
1:00:19	一方、
1:00:20	具体的にその何%って出すときにどういうカウントの仕方をしてるかっていうのが知りたいんですけど。
1:00:30	比率っていうものをどういう数値をもとに出されてるかっていうことなんですけれども、
1:00:42	また仕方としましては、例えば-37 ページにOSLやっぱりであるところ、これが盛んになるんですけども、これ全部足し合わせた数字に対して、例えばこの公募型では 3mとなるけども、メーターの評価結果サーバなのかっていう形で出しておりますけども、
1:01:01	ちょっとそういったこともわかりづらくはなっているのでしょうか。地域だけはしてさせていただければと思いますけど。
1:01:09	37 ページの相関区間でした。その長さ流そう累計して、その間かなり率っていうふうに出してるっていうことでよろしいですかね。
1:01:19	やっぱりそうです。はい、確認しました。
1:01:23	それ系でご指導Cのは、このサーバーIP率っていうものが高い区間というのをオレンジの 8 がけつ 36 ページあって、計それでは反射パターンと対応してるっていうふうな、その結果に対する説明だと思うんですけど。
1:01:40	何でこれがさかい技術が高いところでそういうのが見えてるかっていう、拘束あります。
1:02:00	結果としてはそういう早々に対応するような形で波速監査の方が見えてるっていう説明だと思うんですけど、なんでその差倍率の高いところで、そういう事が起きたっていう考察
1:02:16	メカニズムっていいですか、そういうのは示唆されてるんですね。
1:02:25	うん。
1:02:26	ヒサマツです。
1:02:31	補足説明資料の 20、21。
1:02:35	22 ページめくっていただきまして、そのあとおつきした資料は 23 二十一、二十五、
1:02:44	にあります、
1:02:46	そこでやっぱり一番反射が出るところ一番大きいのは、24 ページ見ていただいて、えっと密度、密度の変化が例えば 0 こう見ていただくと、左から 2 番目。

1:03:02	のグラフになるんですけど、浅いところこう
1:03:07	中期的に密度が変化しているのはわかると思うんですけど、大体この密度変化に非常にしましは合ってきます。
1:03:16	今度砂岩比率の方、来すいません深いところ砂岩がおつきいところす。多いところすけど、例えばナンバー5、
1:03:26	24 ページの右から三番目のグラフとか見ていただくとさが大きいところって、速度のばらつきが非常に大きくなります。25 ページの
1:03:38	No.7 とか見ていただいてもそうなんですけど、非常に
1:03:44	速度の変化が大きくなっているところがありまして、こういうところは密度の変化だけじゃなくて、
1:03:53	どこが極端に何か変化するようなところであっていう反射が出ているように見えてますんで、それがですね、23 ページの砂岩比率のグラフと比べてみますと、
1:04:08	三番が少ないところは密度変化のこの周期のところ非常にいて、左岸が多くなってくると、Sばらつきが大きくなってくるとか、よく減圧以前わからないわからないというか分析入れないんですけど。
1:04:26	一等速度と密度の関係から、この砂岩がですね、急にぐっと減っているところ、そういったところで大きな反対が出ているようには見えています。
1:04:38	よそどこまでの分析はしているんですけど、
1:04:45	はい、一応今も御説明中の
1:04:50	ことではありますけども、結果として、
1:04:55	っていう、
1:04:57	あと、
1:04:58	はい。
1:05:02	はい。
1:05:05	すみません単位です。
1:05:09	私はやっぱりちょっとよくわかんないのが最後ですね、143 ページですか。
1:05:15	もうH断層系の活動性評価のまとめでそれが検討の内容の
1:05:22	凝縮してもらったんだなんだっていうふうな認識でいるんですけども、
1:05:28	この一番右が右側に
1:05:31	オレンジ色の
1:05:33	四角囲みの中に同一の地質学的場で形成された同じ系列に属する一連の断層群と考えられて、これは非常に大事なところなんです。だから、だから、19
1:05:49	でいいんだという話に流れるんだらうと思うんですけど、この
1:05:54	聞きたいのは、このオレンジ色の中っていうのは、これは1断層系か何本かのH断層系ができたときの話をされているのか。

1:06:06	では横書き形成の話。
1:06:09	だけのことがここに入っているのかっていうのをちょっと教えてもらっていいです要するにH断層系っていうのがね。
1:06:18	今後、残存てお話ししたときに、その後の動きみたいなことをこの中に入ってるんですはいつてないんですか。
1:06:32	中部電力イマイです。ここの四角はですね当然古い時代に行っちゃうときに規制された後に、最近出そうが固結した以降も動いていない要するに再活動線量の話も含めて、ここに入って自分に我々は評価してございます。
1:06:54	その固結したいと思っていないというのはどこから見たら、
1:06:59	読めんですか。
1:07:07	断層性状からですね、今日も説明したかと思えますけれどもやっぱりその一固結し、いわゆるば最近増えている活断層であれば、まだ3名確定的であったり、角礫状の破碎
1:07:19	いうことはございますので、そういったことが一番気はないということからすれば、Bから半固結の時代に形成されてなおかつ3月が固結した後ご意見ないことはすべて説明の中に入っていくかと考えております。
1:07:35	海の形態からすれば、一体に動くっていうこともございますので、最近の時代に動いていることは、
1:07:45	個別に動くことはないということも、ここで入ってございます。
1:07:53	今も説明で言うと性状観点から、
1:07:58	それ以上の観点から相当方向は動いていないって言うていうことですかその動いていないというか形成以降を形成されたときのまんまであるんだっていうのは性状の観点から言われてるってことなんですか。
1:08:14	中部電力イマイ、そういう理解でいい。
1:08:18	性状として固結して動いていただくと解釈してございます。
1:08:25	この部屋でもうちょっと何かちょっと何かいろんな説明を加えられたような気がしたんですけども、それを私の機能するのかな。
1:08:35	今はここの四角学校への正常の観点でできたということじゃ。
1:08:42	そのことも動いていないというのはここで動いていないというか、おんなじ
1:08:48	京成の時のことを考えればいいんだっていうようなことをここで書いてるっていうことでいいです。
1:08:54	うん。
1:08:55	私の言い方がちょっとわかりにくいかなと。
1:08:57	形成したと層の形成された状態であるっていうのが正常の観点から、ここに求められてるっていうことでいいですか。

1:09:08	ナカタでございます。ちょっとわかりにくいのかもかもしれませんがここで言ったことは私どもが痛いのは、H断層系はすべて一体として動くということをここで説明したいということで、それでもなもんだからその次の段階でBF4の地区だ方で評価するという。
1:09:28	続けているんですけど、そのことをということを主に痛いところでありますので、
1:09:34	お客として以降活動してなくても当然重要な一つでありますけどここでは、H断層系はすべて一般に僕んだということをですね。
1:09:44	の枠になっております。
1:09:48	多分ちょっと、これ以上議論になっちゃうので、
1:09:54	一つのベースとも御囲むたのは、
1:10:01	例えば成因の観点から言うときできたときは御これ良い悪いはちょっと置いてですね、御社が考えてるような道民のホール等のようなものでできましたということまでは説明からより多かったと思うんですね、できましたっていうところの説明。
1:10:19	こういうふうにできました。だから、すべての断層が一体として活動する。
1:10:27	その後もそうであったっていうことも言ってるのかと思うんですけど、ちょっとその辺の何か説明が私からしたらちょっとわかりにくいなあと思って、その辺が港南何かどこかにこう書いてあるんですよっていうんだったら今聞こうかなって思ってるんですけどどうでしょうか。
1:11:09	ナカタでございます。当然形成のときも、時のですけどもホールディングの特徴ということで、同時に活動するということを踏まえるとその後の活動も一体として動くもんだらうという解釈で
1:11:26	帰しておりますので、止まったりする動くだらうとかいうところが、やっぱりなんかですね。
1:11:34	うん、そう考えてるのは資料からもよく資料でそう書かれてわかってます。相談を
1:11:44	同じように動くものなんだと。
1:11:46	いう知見があるとかそういったことはね。資料になってると思うんですけども、うん。
1:11:55	その辺なんですよ。もうこれ以上ちょっとやめときますけど。
1:12:09	今の説明は
1:12:11	そういったことが書かれてるっていうのはわかりました。はい。
1:12:26	はい。
1:12:29	タガミです。
1:12:31	配当含む法の

1:12:34	豪華な村の話ちょっと確認してください。
1:12:39	はい。
1:12:41	事例として挙げているのは
1:12:45	考察に資する知見っていうふうに言われてるんですけど。
1:12:49	ちょっと13 認識として沼で示されているような正断層群運営っていうのは、
1:12:56	これはもう基本ところまで、
1:12:59	全員が届いてるっていうふうな、そういう考えでは考え方でよろしいですか。
1:13:07	はい。
1:13:08	そうです。補足のイトウ 75 ページ、思います。
1:13:14	もともと無機も見ておりますけれども、基本的に
1:13:19	多分の間辺りの上の軟らかい前弧海盆堆積物の中に西縁断層ができています。一部基板の中でちょっと線が入っているようなものもありますけれども、基本的にはこれはやっぱり健康会合の中の構造と捉えてまして。
1:13:36	たまたま上部のところ、基盤の中でいこうというぐらいの形でございまして、基本的には前回この中に形成された正断層が考えてございます。
1:13:46	それでそのH断層群との違いというところ、予算の構造としてはH断層っていうのはそんなに
1:13:55	深いところ何キロっていうようなところまでいかない説明数百mっていうふうにかんがえられているので、
1:14:03	特徴に海のっていうような特徴としては 20 けど。
1:14:08	全く同じメカニズムではないというふうにかんがえられてるっていうことでしょうか。
1:14:15	基本的に今回の我々のみのっていうのは、消えた 4 として、今回追加してございますし、そういった意味ではもうこの正断層群もまとめ。
1:14:24	ということで院長場において形成された平行な正断層という関係では一緒だと考えてございます。
1:14:30	ただ、政府として時すべきというふうにか我々これまで説明してございますので、その点については地すべりと書いていないという御指摘がございましたので、あそこは今回整理させていただいております。
1:14:41	いずれになっていた血圧計を行ってる理由というのはそんな深いご理解何百 m ぐらいのところまででも、
1:14:52	一番少なくなるっていう事業者さんの認識っていうことでいいんですかね。
1:15:00	それもございまして、ピーキング slip fault という計画の層理面材のプロセスもございまして、そういうところから踏まえると時スプリット解釈しても時矛盾はないというふうにかんがえてございます。

1:15:12	はい、吹っ飛ばをもって前回
1:15:16	褶曲軸のプランジについて私はどういうことを言われてるのか、期間だけでも、今回ちょっともう変わってるようなんですが、
1:15:24	褶曲軸のプランに伴う地層の海側傾斜って書いてるんだけど、モースも少しちょっと具体的にご説明いただけますでしょうか。
1:15:35	もともとの 82 ページでちょっと御指摘いただいたんですけども、
1:15:39	基本的にはその相良層が誘起生かせるという大きなテクトニクスは県道がございまして、その中で、褶曲とプランジをこれ淀川褶曲もできて、そういった構造の中で探すの中にしました委員長ばによって 1 遊びが規制されたと。
1:15:56	いうふうに考えてございます。
1:15:58	もう瑣末層に相当
1:16:02	生じた委員長っていう話と、終局褶曲軸自体は幅野層にできてるやつっていただいて運用の方から陸のほうに来るような南北系っていうことはどういう力がかかっていって言ったら、大体東西建築な圧縮イメージされるんだけど。
1:16:21	一方で来てる上かっていうのは、海のほうにバリューなそういった聴力でナイトウ 1 断層系っていうのはできないようなイメージなんだけど、それも
1:16:34	そこは説明の中で考えられてるのかちょっといまいまいちよくわからないんですけど。
1:16:44	イトウの褶曲発電東西圧縮場ですので、できておりますけれども、その褶曲軸が陸から海に向かって南側に傾いてますんではそれを今回、これは需給形にさせていただいて、
1:16:57	いやねうんそれはわかってるんだけどそのフランジと付き合ううち層も海側傾斜って書かれてるんだけど、まずそこがちょっと繋がらないんですよ。
1:17:12	具体的にちょっと我々だけではないと、理事長がおっしゃったかったんですけども、
1:17:19	稼動容量はですね、
1:17:23	海側へH断層系を作るような頻度みたいなものを作るとしたら、海側への敬三みたいなあればできるってことはわかるんですけど、それをその褶曲ページの図のプランジっていうものと下げてるん理由がよく理解できないんです。
1:17:43	そうですね。
1:17:46	結局自体が確か委員長から関係するかって、そうじゃございませんですけども、この敷地の構造として褶曲容器なことがあるということでございますので、そこも含めて、構造的に記載しているということでございます。
1:18:02	はい、一応別ものだとききましたけど、はい。すいませんヒサマツです。すいません。今の件ですけど、本資料の 13 ページ見ていただくと。

1:18:16	もう少し広い地質構造ありまして、本当はもう、もっと広い図を見ていただきたいんですけど、今ここですぐ出てきたのがこれなんで、敷地内ちょっと北に後方回転してるんで、北向いてるんですけど、地質構造として褶曲構造があって、南にプランジしているっていうことが、
1:18:36	やっけていて、そうすると南に高構造が開いてるっていうことは、南に傾斜しているってことがこの構造からわかるってことで、この構造から南に傾斜している南に褶曲が南に傾斜しているということがわかって、
1:18:54	その傾斜に伴うような力が働くはずだということで、それでその同じ資料 32 ページはこれはもう承知されてるとは思うんですけど、そういった構造からして南に傾いている南に褶曲構造がプランジしているということで南に傾いている。
1:19:12	だから、南北方向にやっぱりがっかりという考えをしているということです。
1:19:22	はい。あんまりやると議論なっちゃうんだけど、多分ですねそのフランジのオオミナミのうちっていうことを言われてるけど、
1:19:33	そこの傾斜自体、それを介護もう作るような傾動というものを、もしイメージされてるとしたら、陸海空Pにおいては海のほうに傾斜してっていうような、そういうイメージが分厚い中にはあるんです。
1:19:48	だから、まず私も褶曲軸のプラントのことをまず理由が理由があるのかなっていう疑問からちょっと
1:20:00	うん。ちょっと聞いてみたんですけど、まあわかりましたよっていうことは 5 月現在、
1:20:05	よろしいですか。中部電カイマイですけど、ちょっとここに必ずしも褶曲軸のフラジリティということがいるかって、うちだけでもいいです。もしあれでしたら、ここをちょっと記載の見直しさせていただきたいと思います。
1:20:21	はい。
1:20:28	すみません、スガヤですけども、本体資料の 33 ページ。
1:20:37	なんですけれども、さっき聞いたページになりますけれども、この中も造構っていうのはさガラスをに関する情報だと思うんですけども、真ん中ら辺ちゅうだけにですね、くる矢印があって、敷地周辺は相良層が堆積を得る前
1:20:55	時に 10 審査植える前も後で中新世中期頃って書いてあるんですけども、本体資料の 12 ページにいただいて、
1:21:08	探そうというのが、
1:21:11	緑で、
1:21:13	はい、そうで書いてありますけれども、
1:21:17	300 自体は中止について
1:21:24	の工期くらいまで解析が終わるような

1:21:27	次になってますけれども、
1:21:30	これは何か記載ミスかなんかですね。
1:21:48	中部臨空イマイです。12 ページ見ていただきまして、確かに田烏多くの差があるときは中新世の後期ぐらいあってですけれども、ここじゃ線が橋言ってるわけじゃないです。相良層っていうのはちょっともう少し上野ません申請の方まで和解
1:22:06	上部の実はそのままでいいものから、一応層序表はそういった意味でこのような記載要するに相良層は強制申請の方まで一応繋がってるっていう解釈で協議
1:22:17	しているということでございます。
1:22:21	ちょっと確認ですけれどもね。なさいますけど、今おっしゃっているのは相良サトウ君のことですね。
1:22:30	それから層のことだと思いますか。
1:22:36	11 の探そうという意味で今回思います。
1:22:43	はいております。
1:22:54	はい。探そうとおっしゃってるということで、はい、承知しました。
1:23:05	あと選定同じ資料の 36 ページなんですけれども、
1:23:15	それがすぐにお話を書いてあるんですけど、この中にある写真が載ってるんですけども、可能であればこじつけスケールを入れてください。款 6 ページ右側の写真。
1:23:34	拝聴しました。
1:23:36	はい、お願いします。
1:23:39	続いて、
1:23:44	あと、同じ資料の 66 ページ。
1:23:52	あ、ごめんなさい、その前の 65 ページ、ごめんなさい。
1:24:03	65 ページの上のほうに、
1:24:07	上の箱書きのほうにですね、EW系正断層再細分し、最新活動時期の最も新しい断層の絞り込みを行ったって書いてあるんですけども、
1:24:22	下の箱書きにいと、検討結果が書いてあって、
1:24:27	御絞り込みを行って、H断層系が絞り込まれたという理解でいいです。
1:24:39	はい。そういうことです。長男絞り込んだものが一番そっち系ですというものです。
1:24:47	はい、わかりました。続いて 66 ページ。
1:24:52	これちょっと日本語をちょっと

1:24:56	繋がりがちょっとよくないと思うんです。これはちょっと再考された方がいいと思うんですけど、66 ページ一番下、
1:25:03	の箱書きの一番下の括弧書き、
1:25:08	ちょっと意味が通りづらいと思いますのでEW逆断層がEW系正断層の活動の厳しいSA要員については次ページにおいて、
1:25:19	詳細説明するってなってるんですけども。
1:25:25	これEW系逆断層もEW系正断層の活動により形成要因についてはいくと多分していきたいなと思ったんですけど、そういう理解とか、
1:25:36	はい、日本語の誤記ですので、修正します。いろいろ聞いていて断層の形成要因、
1:25:43	この逆断層の形成要因を 67 で示すというものですので直します。
1:25:51	はい、続いてなんですけども、同じこの 66 ページの下の箱書きのところで、
1:25:57	ちょっとこれ説明ありませんけれども、①②って書いてありますけれども、①のほうで、
1:26:04	ずっと後ろのほうを読んでいくと。
1:26:08	ほぼ同時期に形成されたって、
1:26:12	書いてあるんですけども、
1:26:15	ここまでの資料を読んでいくとですね、このほぼ同時期っていう当たるような上も情報というのはちょっとどこに書いてあるのかなっていうちょっと掴めなかったんですけども、このページより前に書いてあるんです。
1:26:42	54 ページをお願いします。
1:26:47	四つのグループ横断測定の切り切れ関係をまとめて、
1:26:52	まず運営露頭スケッチから確認した内容ですけども、
1:26:57	一番下の箱書きの最初の部分ですね、各断層の最新活動時期に明確な新旧関係は見られないという。
1:27:05	ものです。
1:27:13	はい、わかりました。
1:27:29	サグチですけども、
1:27:30	ちょっと関連してなんですけれども、先ほどの 66 ページっていう
1:27:38	132 ページのところで、ちょっと理由は、この 65 ページ、17 ページなんだろうっていう話を
1:27:44	確認させていただいたんですけど、一方で、
1:27:51	これちょっとすみません、先ほどの 32 ページから、早期になるんですけども、じゃう軽減断層等NS系正断層ですね、これは探そうへ作用する力関係
1:28:04	まず凡例が要らない。

1:28:08	ということまでは理解できるんですけど、そのあとにNS系逆断層または系正断層の活動に関連して、
1:28:16	で形成されたと考えられるということで、次のページで書かれているんですけど、確かにこれ、
1:28:24	考察されてるんですけど、ここをちょっと言ったのは、
1:28:30	考察されてるのっていうのはあくまでもEWきい
1:28:34	次に、断層
1:28:38	の活動、
1:28:40	日本語なんて云々というのは何ですけど、NS系逆断層の関係。
1:28:46	本って、
1:28:48	この後も含めて何か前ちょっと
1:28:51	そんなことを書かれたような気がするけど、何か今回なくなっちゃってるような気がするんですけど。
1:29:00	すみませんこここれってどうされたんですが、今回、
1:29:05	NS系逆断層、例えば何かNS系逆断層等、
1:29:10	これは何か関連付けられる医療系正断層と思う。これは関連付けられるみたいな、
1:29:18	うん話でもないかなと思って取り囲むNS系逆断層の活動に関連してできるものなのかとかそういうのが一切なくなっちゃってる気がしますけど、そのあたりちょっとまず確認させてください。
1:29:34	NS系正断層の要因については従来の前回ヒアリングから
1:29:43	ここにセンイについての詳細述べた資料というのをつけていなかったかと思っています。あくまでも切り切れ関係から、
1:29:55	もう66ページの下の箱書きでいきますと①のステップの段階でも、
1:30:01	活動が終わっているものであって、②のステップで残っているERP系正断層に規制されるEW系逆断層が本当に
1:30:13	最後に残って評価するなきゃいけないようなものかという観点で67が68の検討をやっているという位置付けです。
1:30:23	すみません、ちょっと4月となった申し上げないんですけど。
1:30:29	もちろんそれはいいんですけど、EW系逆断層、
1:30:34	がEW系正断層の活動の
1:30:39	etal経営計画、飯田をつけて、
1:30:44	逆断層は、なぜNS系逆断層の活動に関連したものじゃないということ
1:30:52	多分言っていないんですよ、いきなりこれEW系の
1:30:59	逆断層はEW系正断層活動に伴って形成されたと書いていますけど。

1:31:06	USK客の層に伴って形成されたもんじゃないっていうのが、
1:31:11	示されてイマイんですよ。いきなりなくなっちゃって困ったなっていうのもちょっと確認させていただいたと思うんですけど。
1:31:24	中部電力のヒサマツです。
1:31:26	食べるへ約EW系の逆断層といいますと、東西方向の走向を持っていますので、下階逆断層として書かれてからと言えはもう南北系の力と、
1:31:40	なるので。
1:31:43	東西系の圧縮でできる件数ではないということからまずは
1:31:51	ね。あと東西系のとは関係ないっていうのは、期生からわかると思っています。
1:32:00	はい、サグチですが、まずまさにちょっとそういうことがそっくり抜けているので、いきなりこれ医療系逆断層は移動系正断層の活動に伴ってっていう、そこだけです私がちょっと確認したかったのか。
1:32:20	それと、期待としては 1067 ページの真ん中の箱書き
1:32:25	の一番上のポツに、
1:32:28	と書いてございます。
1:32:32	なんで西縁断層との関連を見てるんだという
1:32:36	音なんですけど、まず正断層の関連を見ているというかですね。
1:32:41	だぶり契約断層っていうのがそもそもどういう性格かっていうと、
1:32:45	南保格子圧縮で当然できるものだというのは後からからから考えられるんですけども、敷地にはそういう力が働いてない。
1:32:57	そういった中でできる要員として何があるんですかということで調べて紐解いていくと同走向の正断層によってもできるねというの説明を今しています。
1:33:19	御説明については、
1:33:22	明日けれども。ちなみに等ももっとちょっと確認を
1:33:29	なぜいただき冷却断層だけなんですか。
1:33:32	NS形成画像っていうのは、ちょっと先ほどちらっと仰られましたけど、なぜこれは検討対象とか、考察の会社はないんですかということが確認されています。
1:33:52	66 ページの繰り返しになりますけれども、切り切られて最後の段階まで残っていないということですので、その
1:34:03	検討対象から外す理由についてはそういうことですのでその記載を追加するとちょっと検討させていただきます。
1:34:12	はい、柴田の

1:34:13	もちろん今の説明で私は理解をしたんですけど、まずMS系正断層というのは他も最終的には切られるので。これは手帳の検討の対象にはならないということでいろいろ計画断層っていうのはそういった
1:34:30	各地から考えると、LES系逆断層の活動に関連して的なものじゃなくて、疑われるものとしたらいつも言いたい系正断層活動に関連して
1:34:46	形成されたと。
1:34:48	いうこともたがるとそういう観点でこうされているという、そういう理解でよろしいですね。
1:34:57	はい、そうです。基本的には株形成が最後だと考えてるんですけども、このEW系逆断層に規制されたのがですね
1:35:06	起振されてるような特殊なやつがあるので、
1:35:09	この性について細かく見てたという位置付けになりますので、
1:35:14	その辺がちょっとわかりやすくなるようには適正化を図ります。
1:35:21	はいそうです。それから説明については理解しました。
1:35:30	ここの
1:35:34	アミノかと思って。
1:35:39	それからヒサマツです。ちょっと先ほどの件で訂正させてもらいたいんですけど。
1:35:46	よろしいでしょうか
1:35:50	本資料の12ページのほうですけど、
1:35:55	中部笠原層群笠川層というのは変ですけど、
1:36:01	基本的には大阪層群の方が中部までということですので、ちょっと確認をちゃんと確認して記載のほうは適正化させていただきますので、先ほど相良層群朝倉層が中部だって言ってしまったりとか、
1:36:18	わかりましたけど、そこは確認してちゃんと適正化させてください。お願いします。
1:36:29	規制庁ナイトウですけども、ちょっと確認だけさせて欲しいんだけど、中部電力さんの考えとしてね。いやこの海底はいろいろ今もちょっと考えていけないと考えたけど、ちょっとNHK断層をまとめて側方資料の2431/最後のところにまとまっているんだけど、
1:36:47	13を市長等策定は、1Kは海のほうに、
1:36:54	等の特徴を有しているので、伸びのフォルト考え。
1:37:02	まずと言ってんだよね。
1:37:05	その上で、じゃあ、
1:37:08	なんで。

1:37:11	海の通る等であれば、今後動くときには一体で動くとしてですね、そこでわかった。
1:37:21	地すべりであれば、
1:37:24	作られた時は一体で防止としても、そのあと必ず一体で動くかどうかでも構わないと思うんだけど。
1:37:33	行政が一体でできたと考えられるということを説明。
1:37:38	まだ我々も、
1:37:41	言っていないけども、それが空気となったとして、なんで将来も一緒にしか動かない。
1:37:47	ってというのがよくわからないんです。
1:37:54	先ほどから少しちょっと国会があるのかなと思っているんですけども、どんな法律っていうのは成因の話をしているわけではなくて、現代の今見えているいたさ機能等の状態を形態的に評価した。
1:38:12	一体的な分類を行っているものですので、その形態的油特徴何かと言うと一体で動く
1:38:19	それは成因とかそういう話ではなくて、できる時もそうだし、
1:38:27	仮にこの先動くとしても一体で動くというような形態的なものです。
1:38:32	地すべりというのは成因、
1:38:34	我々が言っていた、今まで聞いた地すべりだというのはあくまで誠意ができたときにどういうものでできたかというので。
1:38:43	どういう法律だったというのはあくまでその今見えてる状態からいっていうその
1:38:49	携帯の話をしています。
1:38:53	やはりここから先も、その形態として動くものという評価。
1:39:02	刀禰ほか系の加盟な話ないてというような形態としてどういう法律であれば、一体として今後も一体として動くって何を持っていってですね。すいませんヒサマツです。
1:39:17	イトウ審査ガイドに従えば、十二、三万年前以降以降動いていなければ今後まあ評価動くという評価をする必要ないと考えていくんですけど、ここで
1:39:33	来たときで、そのあと完成形として今ある状態が幾つできたかっていうことを考えたときに、
1:39:42	これはうんと古い時代の内できたものだとは思っているんですけど、外筒に従えば、上載地層で地球い十二、三万年前ということを確認しているんですけど、それよりうんと古い時代にできたものであって、
1:39:59	これが今現在の完成形だと思っています。

1:40:03	そうすると、ガイド上は、それより以降動いていないものであれば今後国について
1:40:13	想定をする必要ないと考えているんですけど、その辺りは、
1:40:17	どういこうですか。
1:40:20	てること。
1:40:23	かなりいたいことは何となくわかるんだけど、その法律構成がよくわからなくていいよというのができ上がった最終姿ですと言って地球は最終的に誘起まで来てないけれども、1Qが上載層で止まっています。19は十二、三万年前よりも、
1:40:43	次の時代に活動して13万年以降活動してませんが、決まったとしても、じゃあ、そのあとに、
1:40:52	いや、だから、地球と同じ西区活動式ませんっていう
1:40:58	。
1:41:01	ここが1階にできたということが形態的に今の形を見て大にしてきたものであって、どれか一つ、特別変位量が大きいとか、それから一つ格別面がシャープだとか、
1:41:18	そういった
1:41:20	粘土が挟んでいるだとか、別の別の構造を持っているものはないので、やっぱり結局全部そっくりだっていうのが一番の大きなところで、
1:41:33	変位量、あと、家ターン平衡感覚なによっても大体一緒ですよと、そういったものは一体としてできて、それ以降一つだけ特別に動いたような形跡が現在認められないので、
1:41:49	そうすると、大体全部一体出てきてます。そこまではいいと思うんですけど、そこはどうでしょう。
1:41:57	いや、いやそれがいいかどうかと考えるとそういうものですって説明してさ、何か今の資料中読めないような気がする。
1:42:07	そこがどの各国がそういうので説明したトマトそこをまず何で事例等、
1:42:16	表構成として設備として考えられていて、携帯として程度のみの方との境界起こっていて、で一緒に動いていつてきたものですよというところを、何を根拠にして、
1:42:34	いうことで一体として動いてますっていうところでいっぱいとして置いていつて動く時期が今までは全部同じものとしたということの説明がないと、1析人的ないわけですよ。
1:42:48	その説明をどういこうふうに構成してるのかはよく見えないんですよ。
1:42:52	そこがこの243ページの右側の

1:42:58	大飯青の
1:42:59	あと薄い色の四角のところ、上からも構造的なものかも代として動く増えたい思っているという性状も不利だった。
1:43:14	性状からしてうんと古い時代の中で一体に置いたものだということが考えられることは、ここで表現してましてその根拠につきましては全部左側に紐づけされてますので、データとしては全部出してるつもりであります。
1:43:31	だけど、今言われてるの古いものだというを前面に出されてるんだけど、ずっと増えたとするのだから1Qでしか評価できないわけですよ。
1:43:41	その中で一体となっていて、
1:43:44	なんで19で、
1:43:47	同時期の
1:43:49	特定できるんですかって言うとか、すごく
1:43:52	だから、
1:43:55	。
1:44:03	電力の中村です。説明少し繰り返しになるかと思いますが、もともとH断層系は、露頭等の観察からも含めて定常分布等で、
1:44:15	以降結果から半固結にできたものだというは従来から説明しているものだと思います。
1:44:23	さらに、今回こうと全員が1Pdであれば、美濃の形
1:44:31	劣るということで、海底にしますから、一つだけや単独で動くんじゃなくて、1まとめて、この大として動きますっていう話をプラスアルファで、追加して、今回出ると。
1:44:48	いうことから、もともとH断層系は未固結形成決定できて、一体としてできたものだという話をしていてということで、それが形成時期形成段階での話。
1:45:03	いう話。
1:45:04	それがさらに再開発その後再活動してないかという議論が先ほども第3のほうからもあったんですが、再活動の話については、やはり形状からいっても、この断層面が
1:45:21	面じゃなくて活用なくて、朝もしてないということから、固結した以降は、
1:45:28	再活動してないっていう話も資料上書いておりますので、その形成時期の話とその後の再活動話を含めて、
1:45:39	この
1:45:40	データ出して、この143ページの中に243ページの中で説明をしている。
1:45:46	ということになります。だから、それが劇団総計としてですね、この3層でも、

1:45:56	同定の評価はできるんで、今回は 19 断層で活動性を評価しますということで、上載層の評価をする。
1:46:05	ということで、それとその今回プラスアルファの固結した以降は再活動してないっていう固結したのはどのぐらいですかっていう話があったんで、今回
1:46:18	属性作用のところの
1:46:20	新たに追加して、これナイトウさんいらっしやらなかったページ
1:46:28	140
1:46:30	6-2 ページに
1:46:33	抑制対応と年代のところの絵を 1 枚付け加えて、
1:46:41	いざガイドでいう十二、三万年っていう相談さして、
1:46:45	Ma2Maというワンオーダー離れたところでの補欠っていう話があって、ここで 1 断層系として一体で動いた、それ以降は活動してないということを新たに
1:47:00	追加して説明していると。
1:47:03	いうところで、形成時期の話と再活動話も盛り込んで、
1:47:08	トータルとして 213 ページのフローに入れているということ。
1:47:15	なんですけれども、いかがでしょうか。
1:47:18	うん。
1:47:19	以上でご損益って年度評価作業
1:47:24	うん。
1:47:31	補欠の話そこも
1:47:33	あとそこられる場合にも、いつ断層系は固結しないんじゃないかという話とかあったんですけども、もともとイトウ断層系ご覧になると、使える以前は
1:47:45	今やった断層の私の火山の間の部長交代というようなところに関してのところは引きずり等あって、
1:47:56	高潔はフォローできたものだという話をしまして、本年度ところも確かに
1:48:03	音、
1:48:05	いや、158 ページのところの高度分布と見れば母岩よりは、あるものの、これ
1:48:12	いろいろとこの水みちになってるような同等でになってるのかもしれませんが、
1:48:19	一方、コードとしては僕はよりは下がるものの、一定の
1:48:25	6 世界を受けて、別に向かっている話ですので、1 断層が見えていまだに未固結半固結だっという話とはちょっと違うのかなと我々思ってます。
1:48:44	横ばいだけどころで、
1:48:49	年度のところは、
1:48:52	皆さんの今の粘土は固結したものですってなってるわけで

1:48:58	出ないんだけど、これ固結してないね。
1:49:04	中部電力イマイです。固結してないというか相対的にはやっぱり護岸に比べれば確かに最後室、
1:49:11	なんですけれども、活断層のように本当に軟質なスメクタイトが豊富な粘土とは違ってそれなりに今実はしていくというふう到我々考えております。本日ちょっと説明ありましたけど 133 ページとかで薄片とか見ましてもですね。
1:49:26	その年度分のところは最近多いというなかつ繰り返し活動とかもございませんというところも設置をさせていただきますので、年度があるから、先ほど言ったんだというふうには我々解釈をした年度年度とは表現しておりませんし、
1:49:42	再露出して調査をしていくということでございますとですね、やっぱりわかった。
1:49:51	本校大学からのも含めて、ここ結論もあるし、形態を見たら間仕切りフジタ的なものですが、下流があってそこ固結してない状態であって、別の時期にかぶってると。
1:50:08	その中で、
1:50:09	なんで助成としての梱包。
1:50:13	対応のところを見れば伴う一気にやったんですっていう主張なんだけど動いたものだっていう必要があったけれども、それを前提としたとしても、
1:50:23	そのあとに動いているということで、形跡はあるんだけど、何で並行。
1:50:30	一体しか動かないと。
1:50:34	結論づけられるのかを
1:50:38	今、ヒサマツです。
1:50:40	あと固結した後に動いた形跡があるというところがちょっとよくわからなくて、今我々露頭で見えますと、今の状態でこれセンチでもずらせば必ずどっか。
1:50:55	面ができると思うんですけど、そういった面が続かないということで対流ブッシュウを見てもですね、面的に続いているわけではないので、仮に今の状態でずれていたとしたらこうはならないと思うんですけど。
1:51:11	いうことは、ある程度流動的に今のちよつと言ってるわけじゃない。
1:51:16	調整係に変えてきたとしたとしても、初生の後に動いたと考えられるような粘土があるわけであって、その中で、
1:51:26	いろいろ核種粘土の部分が連続しないから、先のほうではないという主張されるのはいいけど、さっきじゃなかったとしても、
1:51:35	なんで。
1:51:36	主な実績ニシカワ動いていないんです。
1:51:40	どっから皆さんを市長にも彼も

1:51:44	そうすると、もうそのアマノ活動も同じようにしか動きでないものだから、1Qで代表させて上載層で準優勝満3万年前の古いものですということを言わなきゃいけないんだけど。
1:52:02	仮に所性が地すべりの的なものでは固結だって事を打ったとしても、
1:52:09	でも、
1:52:11	粘土ありますよねというところの
1:52:15	粘土部分が形成されたものについて、それぞれの炉もまず時期に動いたものですっていうことをどうやってどういうロジックで皆さん説明しようとしてるかもよくとか、
1:52:27	ここの中でも、その部分は理解しない様です。まず面倒じゃないというところで最近よくしてますので、そこは粘土じゃないんですけど、146ページの2。
1:52:41	黒46ページの2見ていただきますと、
1:52:44	ずっと固結はしていつているので、
1:52:49	徐々に1断層がこの
1:52:53	300から200万年ぐらい大体だと
1:52:57	オーダーでこれぐらいだと思っていますけど、この辺りに1回で動いたわけではなくて、龔海底どんと置いたのかを徐々に成長していったらいいのか、その区別はつかないと思ってるんですけど、仕上がり今の状態になっているんですけど。
1:53:14	それで、海里物質の周辺が
1:53:22	メインができてないってことは、ある程度
1:53:27	流動的に変形できる。
1:53:29	議題にできないと、今の形にはならないということで、幅を持った議題移管の中で、成長してきたものかの可能性もあるので、
1:53:45	社長効果タニがあるんではあるんですが、
1:53:51	この46ページの
1:53:54	ラフで見ると、ある程度固結した状態以降は動いてないのは、これは今の性状見れば言えていると思うんです。
1:54:05	そういうふうに思います。
1:54:11	サグチですけども、あまりこう、ここで多分議論になってしまうので、
1:54:17	そこは
1:54:19	必要であれば、引き続き開口部で議論したいと思いますが、ちょっと私から1点だけ、系統確認をさせていただきたいと思うんですけど。
1:54:30	ホームページは201ページとか、これ
1:54:36	いずれになされていたものですが、

1:54:41	要は、
1:54:42	今回反射法地震探査でも新しい先生とそれから耐震のボーリング孔等の会議ですわね。
1:54:52	でしていただいていると思うんですけども、ちなみになんですけど、測線でほかで
1:55:00	例えば区分
1:55:04	71 ページをご覧ください。
1:55:09	今の結果というの、最新の結果というの 01 測線、
1:55:13	この紙も窃盗位置すると報告事項とあって、それぞれ回位費できそうなボーリングA幾つかあると思うんですけど。
1:55:29	これはもう 1 測線と同様に同じような傾向が、
1:55:35	そう。
1:55:36	なっているかどうかというのを確認をされていますでしょうか。
1:55:43	はい。
1:55:53	中部電力イマイです。一等ある出口測線以外にも、これらの 170 ページにござ いませんで、大深度ございましては我々としてもこれらの大深度による深部に おいてちゃんと機のような幅を持った総代ということは確認はしております。
1:56:14	5000
1:56:16	ちなみになんかそれって、これまでどこか示されていたりしないですよ。
1:56:24	はい。あれあくまでも前回、前回審査会合である位置づける側線を代表として 説明してございますので、これまで審査会合ではそういった説明は減らしてお ります。
1:57:00	はい。
1:57:04	はい。
1:57:08	サグチです。ちなみにこれも 200 ページとか、
1:57:12	1 ページ、同じような形で直線の。
1:57:17	していただくと報告できないんですか。
1:57:23	出すことは可能なんですけども、データがとにかく膨大になるものですから、ち よっとそれに時間がかかってしまうということでございますので、我々としては 今まずはこの今の資料に審査会合おり期待も全体含めて議論させていただき たいと考えており、
1:57:41	準備することはやぶさかではございます。
1:57:49	当然、
1:57:52	設定。
1:57:54	なんていうんですわ、説明性の向上みたい。
1:57:58	なると思います。

1:57:59	必要に応じて、我々ちょっと会合で、
1:58:03	ちょっと求めるかもしれません。
1:58:05	ちょっと保証債
1:58:09	承知いたしました。
1:58:48	やっぱりわからないと思います。
1:58:51	ことで、
1:59:11	以上です。
1:59:52	サグチですみませんちょっと1点、さらに細かいとか発生結局このどんなこと ってというのは、御社としてなのかその本件自体にそう書かれてるのかわかんない んですけど、これはどういうものなんですか。
2:00:09	管理その正断層群としか元文献に書かれていないのか、例えばこれは地すべ り事業のなんか生活部みたいな方がされて家その部分でちょっと教えてい ただきますでしょうか。
2:00:36	影響部電力ナカタで補足説明資料の59ページにそのあたりまとめて書いてご ざいますけれど、とめのフォールⅡについて概念としてはこういった形で、生徒 が何も関係なくて、携帯理論的から
2:00:54	ここに補填ですとか、技術大学とか同じようなことが書かれてまして。
2:00:59	今とめの倒しある奥瀬流布こととかいうのもありますけれども、今度の方々と いうふうな構造を形態的なものを持つことでこれは同時に動きますということ を言われてるので西縁とかという関係で、
2:01:16	等で実際のものがこの同じ上のもう1枚の58ページにこういった事例として 紹介されているということで、これらについても別に地すべりだとかそういった ものと関連づけて話が主な内容。
2:01:31	当然地すべりによってもこういうことがわかってますけれども、必ずしも作りつ ていうと、
2:01:37	こんなんでは
2:01:42	はいサグチです。わかりました。とりあえず整理とかというの携帯だけというこ とで、
2:01:50	一応理解しました。
2:02:02	総合的な形態としてはですね。
2:02:21	すみません、ナイトウですけども、
2:02:24	それでもう1回確認なんですけど、こういう富の法律を特徴示すから、同じ時 期に同時に動いたものだというのが御社の主張ということですか。

2:02:40	当然それも一つUFの一つでございますけど金戸民法つつによってだから、ということで、ほかのものがあるわけじゃなくて、フローでもありますように、謄本正常だとか、
2:02:55	そういったものも含めての評価。
2:03:01	いや、によっても沿いを多め一番最後のやつをとび土工野塚からすべての断層が一体で活動する。
2:03:11	になってくる。
2:03:24	食肉イマイにして
2:03:27	もともと同一の地質学的場で形成された同じ系列に属する一連の出す。
2:03:33	説明していたところを今回その中身をもう少し細かく説明したほうが良いということで、この6出すページの青枠にございますように、分布形態や性状とからこれも一緒に、古い時代に形成されたということ。
2:03:48	今回もう一つついでということで含みのという形態論的にも形態として一体で動くというような地形も含めて今回一連のついでというところ、今回説明の説明性を向上させた。
2:04:03	いうふうに考えております。
2:04:05	持っていずれにしても1月にはどの断層でもな組成を代表できるということの根拠としてこのように今回整理していくということでございます。
2:04:17	5分から送水米国カメイだけど、この243ページのやつを読む限りにおいては、どういうふうに特徴応答も重視しないことからはすべてが独自のほうに同様のすべての例えば一体として確保するという
2:04:33	って言ってねとか道民の法律が一体帝国ものであるから、それと矛盾するものではないから一番その当時でここだって水位市長、
2:04:45	で書いてあるんだけど、
2:04:48	そういうことで、ちょっと突った問題体力ついでということで、一応ときはその時の特徴としていくことで、1件は一体として動くというふうに解釈をして、
2:05:01	いやだからほとんど安山岩だという形態からも、ここに書いてあるのはどういう物が一体で動くごろですと文献で言われています。
2:05:12	THKはこういうふうな交通の特徴をすべて有しているので一体で動くものと評価しますと書いてあるんだけど。
2:05:20	そう書いてありましたけど、それでいいんだ。
2:05:24	ボンベとかでさっき聞いたら、いやいやいやいややってますけど、出てくるんだけど。

2:05:30	この中で、もともとH断層系は落差がおんなじだとか幅が等間隔だとか、こう平行のとか、そういったすべて同じような形状を持っておりまして、そういった形態からもこういったものは一体で走時結成されて同時に
2:05:48	置くような断層だというふうな理解をしておりましたので、ただ、この根拠は何ですかということを行ったときに御こういうものはこういうふうに置くでちょっとつてというような感覚的なものではなくて担当オオミナミホールという文献もありますよというような感じで、これも今回補強するというような感じにいるという。
2:06:06	住宅っていうのは、
2:06:11	ごめんね。どうぞ聞いてると余計わからここに書いてあることと違うと説明されているような気がしたけど、ここに書いてあるのと見ところずっと同じ形態を示すから 50 数なんだけど、今の説明だと伸びの法律と別に、
2:06:26	55 号の考えているけれども、その例としてとみんな法律
2:06:32	がありますって言ったんだけどそうだとこういう書いてると違うよね、どっちなの。
2:06:44	すいませんモリモトですけれども、241 ページのまとめの記載ですね、ご覧いただきたいんですけどもまず
2:06:53	一番頭の塊の部分に産総研の特徴の部分で以前から言ってること何も変わってなくて、一応先の特徴の性状ですとかニッケルそういったことを書いてますルートが着手時期です。
2:07:07	そういうことですがけれども、
2:07:09	もう今まで説明していること。
2:07:12	あれはもうすでに我々としてはこのアマノが一番最後のところですね、同時代の同一の局所的な応力場により形成されたものだということは、
2:07:20	もう一つ言っている。
2:07:22	今回、それに加えて、その下、で個別の活動時期は未定とするものという考察ですとか、
2:07:32	一般的な文献等を照らし合わせて、都民の言う通りにしてるので、一体として動くのだろうっていう歩調今回やったという意味です。
2:07:49	どうぞ。
2:07:58	いや、事業から聞いてくれますので、補強したってことはどのような法律が同時に動くものだと言われているので、NHKを同時に動いたものだっていう必要じゃない。
2:08:18	中部電力アマノでございます。
2:08:21	要は今まで、先ほどからナカタとかおモリモト御説明しておりますけど、先ほど 241 でいうH断層系の特徴ってところは、

2:08:31	我々のいろんな実質の調査によりまして帰納法的にこういう証拠商工っていうのを積み上げていって、やはりH断層系っていうのは分布とか性状から見ても、同時代に同一の局所的な応力場で形成されたものであろうという御説明を
2:08:51	従来よりずっとやって参りました。ただ昨日方なので、そういったやっぱり蓋然性が高まってるだけでやっぱり100%そうなのっていう議論が多分終結しないということがおそらく過去の審査会合の中のコメントでもあったかと。
2:09:09	認識しております、そういった観点で今回道民のっていうのを持ってきたのはこれは演繹的にじゃあ引張応力場っていうところにはどういものが起きるのっていうのを改めてその海外の文献なんかもしっかり読み込んだところはやっぱり引張り応力場っていうのは、
2:09:26	その正断層でこういう道民的にバタバタとを結構航路事象が起きていると。これ東西H断層を比べてみると、やっぱり気泡ですので、世の中の審議としてこういう事象があります。これと照らしたときに、
2:09:42	H断層系っていうのあってるよねというところを今回あわせて、要は機能法的な部分蓋然性が高まるんだけど100%にはならないところを演繹的に100%、これといいよねっていうところにちょっと合わせ技の御説明をさせていただいたというふうに考えてございます。
2:10:06	243 ページが、そこを待って。
2:10:10	うん。
2:10:11	ない。
2:10:13	だけど、
2:10:14	そうになってないとか読めないんだけど。
2:10:21	中部電力アマンでございます。はい、コメントとしては、確かちょっとのみのよりな書き方にはなっているのですが、日本語として241と242はそういうつもりで書き下してきてるんですけど、ちょっと243フローにしているので、
2:10:40	どうしてもかいつまんで書いちゃっている部分があって、
2:10:45	読みづらいなというご指摘分かるのですが、
2:10:50	えっとね。
2:10:51	ナイトウですけれども、そこにすぐに事由がね、皆さんの論理構成の話なので、そこは降灰が読んで降灰が生じないようにしっかり書いてましたけど、そうしないと、今のやりとりを繰り返すこと。
2:11:11	ロジック
2:11:12	論理構成が明確じゃない中で議論できないと。
2:11:18	。

2:11:33	ヒサマツですね、論理構成としてはあのフローの通りだと思っているんですけど。
2:11:39	エレベーターフロー通りだったら道民の法律だからって書いてあるんだけど。
2:11:46	それはそれでもそういった入って行ってね、どっちなの。
2:11:50	。
2:11:51	ちゃんと紙に書いて出してくれ。
2:11:54	空中戦になっちゃってるから。
2:11:58	ここに書いてるのは工夫しか読めないんだけど、議事に違えますと言っていて、いや、でもそれでもそう書いてないんでってやってる通りですっていうグルグルグルグル回っちゃって。
2:12:08	皆さんの論理構成明確に書いてください。そうしないと介護いけない。
2:12:23	10月の会社としてのスタッフの話から、会社としての早速まず社内ですっかりまとめてくださいと言ってること担当部局違ってるように聞こえない。
2:12:45	中部電力アmanoでございます。確かにナイトウさんのおっしゃってる通りで、すいませんこのフローだけ見ると、我々としてはその上のオレンジのところと同一の地質学地質学的場で形成された同じ系列に属する一連の断層群で考えられるという。
2:13:03	結論に持ってきた上で、今度美濃達してると思いますけどちょっと明確に見えないところがあってこれだけ見るとおっしゃられる通りなんか、会社としてごみの中からいいよねっと入っているようにも似てしまうので、
2:13:22	今の議論というかおご指摘とかってというのは、審査会合
2:13:29	やるべきなのか、もう1回ヒアリングをお願いしてこの辺りを明確にわかるようにしたほうがいいのかってのはどうな感じなんでしょうか。
2:13:41	刀禰まずは明確したと出してください。それで明確だだったらそれでいいのか悪いのか議論は介護でやりますけれども、現状、皆さんも市長がどうなるかという、よくわからないと書いているページでも若干違ってるし、
2:13:56	それからキャンプ整備して欲しいんですけども。
2:14:03	承知しました。すいません。
2:14:05	ちょっと今ここ多分おそらく一番重要な議論だと思いますので、
2:14:11	我々の思いをしっかりと書き込んで、もう一度ヒアリングをお願いした上で審査の場で
2:14:20	御審議いただきたいかなと思います。
2:14:24	はい。
2:14:27	ヒアリングするかどうか入っ回収作って助けてくださいという動きがきかないとわかんないという話だったヒアリングやってると思う。まずヒアリングの日程 9

	は、それに設定すると結構時間が調整か結構面倒くさいって書かへんなって今の時期、
2:14:44	なので、まず資料ができたらしいというようにしてもらっていいですかということで資料を作るときにさっきの細部の話、皆さんがやったところ、固結しているんですけどっていうふうにしか聞こえなかったんですけど、細部をどう言わさしてるのかってのはそこをちゃんと明確にしてもらっていいですか。
2:15:03	ヤマノです承知いたしました。支給代替案とかですね、案を作ってまたお送りして出していただきたいと思います。
2:15:14	。
2:15:17	なかなか細部の話なんですけど、ちょっと蛇足かもしれないですけど、例えば柱状晶洞表現されてるのかとか、これまでに出示してきたのでどう表現されてるのかっていうのをしっかりチェックしてですね、それはつけろと言ってるわけじゃないですけど。
2:15:32	その辺をしっかり整理して説明していただきたいなと思います。
2:15:40	iアマノで承知しました。そのあたりしっかり確認した上で記載すべきところはいたします。後日御説明できるような酸素もしっかり考えていきたいと思います。
2:15:59	いや、
2:16:01	ですけども、今、ちょっと細かい話かもしれないですけど、資料整理されて確認して欲しいんですけど。
2:16:09	本当。
2:16:11	量 146-2 ページ。
2:16:14	ところで、
2:16:17	今回新たに追加されたページですけど。
2:16:21	杉山ほか 2011 と上の箱書きの中です、あと箱書きの下の右下のところに杉山ほか 1988 と書いてあるんですけど、多分、文献リストに入っていないような気がするので、
2:16:35	確認をお願いします。
2:16:39	あとちょっと私どもから通帳申請中期とか動向っていう話ちらっとありますけれども、ここにも同じ図が左のほうに出ていってるんですよ
2:16:52	あと、
2:16:54	一方で右側の図、模式図のイメージを書いています。その横軸にも同じように議題がありますので、確認の際もあわせていただけたらいいかなと思います。以上です。
2:17:18	承知いたしました。確認してまた資料のほう適正化させていただきたい。